

足立健康友の会 かばら支部ニュース

第13号
2009年8月20日
Tel: 3605-5594
<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>

核兵器廃絶の地球規模の合唱の中

「09原水禁世界大会」 in長崎

かばらグループでは職員・友の会が共同して取り組む

今年の原水禁世界大会を前にして、4月にオバマ米大統領が「プラハ演説」で「核兵器のない世界」を国家の目標とすることを表明し、核兵器廃絶への新たな展望がうまれてきました。また、日本においても被爆者が国を相手に被爆者援護法の認定を求めて裁判を起こし、全て裁判で国が敗訴しました。政府と被爆者との間で「原爆症救済合意」が実現し話し合いでの解決の道ができました。

蒲原グループでは、院所・事業所、友の会の先輩が「核兵器なくせ」「戦争反対」の運動を続けてきました。今年も6月23日に友の会と職員が集まり「原水禁世界大会」成功のために共同の実行委員会を結成し、長崎へ職員と友の会員1名ずつを代表として派遣する



事を決定しました。長い闘いの展望が開かれた今年は、昨年の広島からのアピール署名（核兵器を世界からなくせ）を来年5月の「核不拡散条約（NPT）再検討会議」に向けてたくさんの方の声を結集するため7月の「下町の健康」に募金袋と署名用紙を折り込みました。

7月に職員に昼食の炊き出しカンパを五回実施することも決めました。内科、歯科、デイサービス、友の会（2回）の担当日を決め、友の会は1回目は例年と同じカレーライス、2回目はちらし寿司を作ることに決めて役員会でも討議をしてそれぞれの成功のため、買出し班、ご飯たぎ担当、野菜サラダづくり担当などを決めて頑張りました。

また、皆さんが提供してくれたバザーも100点以上集まり、役員が4人で「高い安い」と言い合い値付けをしました。バザーは7月22日から待合室前ホールで行い、みなさんの熱い思いで完売となりました。



核兵器をなくせという世界の動き

と支部ニュースでの訴えやアピール署名用紙と募金袋を全会員に届けたことが反響を呼んで例年になく署名と募金が集まりました。世界大会に参加したデイサービスの小山さん、友の会の中尾さんご苦労様でした。二人の報告会を左記のように開きます。多くの方の参加をお待ちします。

2009年度

原水爆禁止世界大会報告会

月日 八月二十五日（火）
時間 午後六時より
場所 かばらデイサービス
参加費 無料です

小山さん・中尾さんの世界大会参加で感じたり全国の仲間のお話などを報告していただきます。皆さんの多くのご来場をお待ちします。

わたしのふるさとコーナー 「庄内平野（酒田市）」

池田 國夫支部長

庄内平野（酒田市）の小川で小鮒、鯉、川蟹などを釣ったり、網で捕ったり、落ち穂、田螺、いなごを学校で処理した事などが走馬灯のように想い出される。日和山公園の散歩道を煮込んだ丸こんにやく

を食べながら「文学碑」（29基）を観る。



鳥海にかたまる雲や
秋日和（子規）
暑き日を海に

入れたり最上川（芭蕉）
米ちや庄内、港ちや酒田、日和山まで船が来る（西条）酒田港、最上川、鳥海山が詠われている。



昨今は、土門拳記念館、山居倉庫（米倉）、本間美術館、相馬楼（舞娘）の見学も賑わっているとか。ふるさと
の味覚は、酒田ラーメン、庄内米、むぎそば、天然岩カキ、寒鱈汁、庄内柿、地酒（清潔な水・庄内米・蔵冬と伝統が融合した芸術品）などがある。ふるさととは、時々帰ってみたいくなる処。（写真は土門拳記念館）

役員研修交流旅行 片品村・花咲温泉に行く

嶺岸さんが芝居の脚本を書いた
めにお世話になっている健和会職
員の親戚の民宿「せみね山荘」が
宿泊場所。宿の主人のはからいで
武尊牧場と平家ほたる狩付きの2
日間で楽しく充電できた旅となり
ました。

日常の役員会では課題に追われ
て社会保障や医療制度・介護制度
がどうなっているか判らぬまま走
っている状態なので学習の機会が
得られ今後の活動の原動力になる
と思います。



「医療を崩壊させないために」
サブタイトルになぜ医療崩壊がは
じまったのか、どう解決する！と
いう演題で済生会栗橋病院副院長

の本田宏先生の講演会の話をも
コンに入れてプレゼンテーショ
ンで学びました。

医師不足が言われ始めて久しいが
なぜ医師不足は始まったか！

日本では医療費が毎年1兆円ず
つ増え続けていて世界に誇る皆保
険制度が危ないと40年間にわた
り、医療費抑制のための医療制度
改善を続けてきました。

医者が多いから医療費がかかる
のだと医学部の定員も削ってきた
ました。

それでいて税金を何に使用して
きたかと言えば毎年社会保障費を
2200億円も削り、そんなに緊
急性の無い公共事業につきこんで
きました。例えば高速道路の緊急
電話が一台250万円ということ
ですが実際は40万円であることを
1kmおきに両側に設置しています。
必要性の低い所に各県が競って
飛行場を作りましたがほとんどの
飛行場が大赤字です。走る車があ
い所に高速道を作ったりの税金の
ムダ使いのしくみをしっかり勉強
しました。

また、健和会の宮崎康理事長の
医療雑誌「VOICE」のインタ

ビュー記事を輪読して学びました。
戦後まもなく地域住民が「安心
してかかれる病院を」と「赤ひげ
先生”を探し柳原診療所を立ち上



げました。その後東大闘争を経
験した若いお医者さんが集まり、
合言葉は「下町に佐久を」という
高い意思で地域医療を作ってきた
足跡を学びました。

長崎で行われた第10回全国共
同組織交流集会へ参加した清水さ
んから「地域のふれあいと友情で
一人ぼっちの高齢者をなくそう」
と全国で知恵を出し合って地域で
手をつなぎあつてがんばっている
皆さんの日常活動を紹介してくれ
ました。(7月号参照)

追伸

夜の平家ほたる狩りは闇の中、
ほのかな光が我が世とばかり飛び
交う様は、まさに幻想的でした。

担当 渡辺政次

職員紹介

2人のケアマネジャー

蒲原診療所、一階待合室の一角に
ケアマネジャー二人が在室して
いる部屋があります。
その二人を今回は紹介したいと思
います。

高野雄子さん

1978年に看護学校卒業と同
時に、柳原病院外科病棟に入職。
1983年11月みさと健和病院
オープンにともない三郷へ異動し、
長らく病棟勤務を続けました。そ
の後みさと健和団地診療所の師長
として活躍してきました。ケアマ
ネジャーの資格は2000年の
第1回目試験に合格。それ以来、
看護師の仕事と並行して介護保険
関係のお世話をして来ました。

この7月より専任のケアマネと
して蒲原診療所に赴任。モットー
は「仕事は楽しく、相手との約束
を守り、誠実に」とのことです。
趣味はママさんバレーボール・四
季折々の花作りなど。「猫も大好
き」と言います。家庭は子供さん
が独立し、今は夫と2人きりです。

田原由美子さん

田原さんは1996年大学を卒
業後、在宅介護支援センターのソ

ーシャルワーカーを経験し、健和
会には99年に入職しました。2
002年にケアマネジャーの資
格を取ったからは、この仕事に専
念してきました。蒲原診療所には
2007年9月より勤務。難しい
相談事も親身になって取り組むこ
とでは定評があります。「明日で
きることは明日やる」主義で周囲の
あわただしさを冷静に見つめなが
ら仕事をこなしています。



趣味はスノーボード。家族は主
人と2人。

高野さんのケアマネ専任で蒲
原診療所の介護保険を取り扱う職
員が充足されました。介護保険の
申請、相談など周りの方からお話
がありましたら、蒲原診療所のケ
アマネに連絡することをおすすめ
ください。

担当・嶺岸宏